



年末年始の受付体制について

2023年も師走に入り、一段と忙しい時期となりました。病理診断部は以下の通りに年末年始の受付をいたしますので、宜しくお願い致します。

年末年始 受付体制						
	12月29日	12月30日	12月31日	1月1日	1月2日	1月3日
	金	土	日	月	火	水
剖検	○	×	○	×	○	×
組織診	△	×	△	×	△	×
細胞診	△	×	△	×	△	×

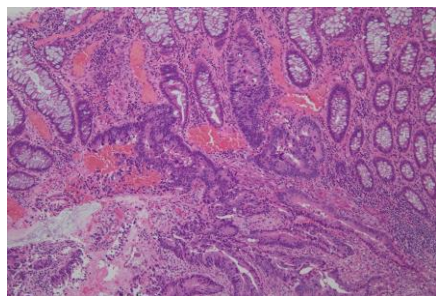
○：受付可 ×：受付不可 △：基本的に受け付けはしない

受付時間：8:30～15:00 連絡先：2257（内線）または18218（PHS）

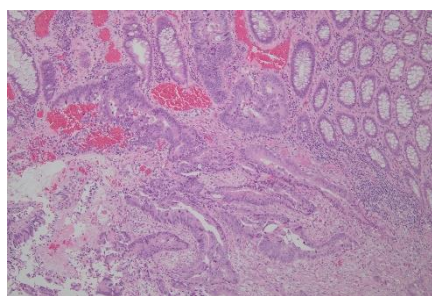
※緊急の検体提出時は電話連絡をお願いします。連絡が取れない場合は、[ホルマリンに入ったものは室温保存](#)、[細胞診検体は冷蔵保存](#)し、受付対応可能日に提出してください。特に、胆汁・唾液・髄液などの細胞診検体は細胞が変性しやすいため、検査不能となる可能性がございますので、ご了承ください。

栃木県病理研究班研修会に参加しました

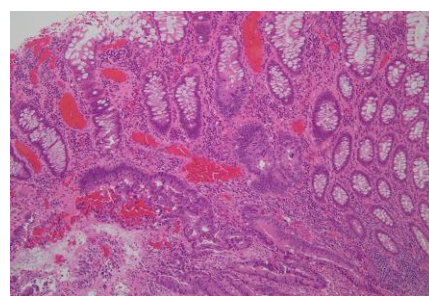
10施設のHE標本を比較し、他施設との違いを確認しました。施設によってヘマトキシリンやエオジンのメーカーが異なる、あるいは染色液を調製している、さらには染色プロトコルにも違いがあることが分かりました。これらの結果、施設間で染色性の違いがみられました。それぞれの施設で診断する病理医の好みの染色性を考慮したプロトコルを使用している場合が多いため、病理検査における染色性の標準化は難しく、研修会では、施設毎に染色性が確立されていれば、診断に影響することは少ないのではという結論に至りました。ただし、診療上他院へHE標本を貸し出したり、最近ではバーチャルスライドを用いた遠隔病理診断が行われる場合も出てきていますので、染色性の統一に向けての取り組みは今後も必要と考えられました。



施設A



施設B



施設C

施設間でこんなに違うのか～…。